令和 5 年 2 月 3 日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

・日時　令和 4 年 12 月 13 日(火)17:00～
・開催場所　東京都港区虎ノ門 1－23－1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社　27 階会議室
・参加者　審議委員総数　9 名
出席委員数　8 名
書面参加委員数　1 名

（出席委員名）
委員長　村川 幹夫（(株)オリコン ME WEB 編集本部 執行役員／編集長）
副委員長　藤田 興彦（公益法人児童育成協会参事）
委員　堀越 礼子（(株)朝日新聞社 取締役）
委員　名越 康文（精神科医・評論家）
委員　清水 優子（ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表）
委員　太田 美千子（(株)講談社 MOVE・ディズニーファン事業部 部長）
委員　須貝 駿貴（学術博士・QuizKnock）
委員　吉田 千佳（YouTuber）
（書面参加委員名）
委員　パトリック・ハーラン（タレント・大学講師）

（衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン）
福田 泉（代表取締役社長）
中口 裕丈（編成局長）

（番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社）
小林 信一（代表取締役社長）
小峰 利憲（取締役）
伊藤 由起（編成 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社）
待鳥 雅之（編成 アシスタント・マネージャー）
田内 恵美子（編成 スケジューラー）
中台 朋子（編成 スケジューラー）

・議題　　（１）ディズニージュニアの番組編成について
　　（２）審議番組『アリスとふしぎのくにのベーカリー』について

・議事内容
（以下、＊：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答）

（１）ディズニージュニアの番組編成について

→12 月 10 日(土)10:00-15:00 は「 ディズニージュニア　すてきなクリスマス 」という特別編成を組み、日本初放送のものやチャンネルで初放送となるクリスマスエピソード６話分を含む、全 11 話分を放送。
→3 日（土）13:30-17:00 には、TV シリーズ『トッツ とべ！ あかちゃんおとどけたい』の特別編成として「トッツのドキドキどようび」という枠を組み、シリーズの最後となるエピソード 7 話分を一挙放送した。
→11 日（日）15:00-17:00 には 「マペット・ベビー わくわくサンデー！」と題して、ついにシリーズのファイナルを迎える人気の TV シリーズ『マペット・ベビー』の特別編成を組み、日本初エピソード 2 話分を含む全 4 話分を連続放送した。
→18 日(日)8:00-17:00 には、TV シリーズ『ブルーイ』の特別編成「ブルーイ ふゆのだいほうそう」という枠を組み、ここでは TV 初放送となるエピソード 4 話分を含む、全 18 話を大特集。

（２）審議番組『アリスとふしぎのくにのベーカリー』について

・放送概要：
2022 年 07 月 16 日(土)に日本初回放送。
約 22 分×全 25 話（シーズン１）
・番組内容：
映画『ふしぎの国のアリス』にインスピレーションを受けたアニメーションシリーズ。ひいおばあちゃんの魔法がかかった料理本を譲り受け、「ふしぎのくにのベーカリー」でお菓子やパン作りに奮闘するアリス。親友の白ウサギのファーギー、おかしな友達のハッティ、ハートのプリンセスのローサなど仲間たちと一緒に、食べ物は自分を表現することができ、友だちや家族を結びつける力があることを学ぶことになる。

→この作品は、映画『ふしぎの国のアリス』の世界から生まれたキャラクターたちによる楽しい歌のシーンが特徴的で、物語の基本的な流れとしては、友達と協力し合って問題解決

していくという内容。
→作品のテーマとしては、みんなで協力をするとか、お菓子作りを通して自己表現をする、文化の多様性などが含まれている。
＊ターゲットの年齢層もちょうどいい（未就学～6 才児）。
＊全編通じて、子供たちがワクワクできる音楽や内容となっている。
＊興味深い点は料理、ケーキ作りの過程、音楽を通して楽しめて素晴らしい。
＊セリフの中で曜日の表現が、月…火…“水”となるところを、「空が青かった日」などの表現が自由でいい。
＊みんなで助け合おうというメッセージが、全編通じて感じ取れる。
＊「可能性はいつだってある」というセリフが要所要所にある。
＊原作はキャラクターが強かったが、トーンダウンして優しくなっている。
＊Disney はいつも楽しくてかわいい。
＊自分の子供のころは勉強しないといけなかった時代。一番のメッセージは、“今は子供のころから色んなことに興味を持っていいという時代”という事を感じた。
＊「仲間が大切」というメッセージもある。
＊Disney のビビッドな色味が楽しいというのが最初の印象。
＊女の子が好きなプリンセスやお城などの憧れの世界が散りばめられている。
＊誕生日じゃない日のケーキがおもしろい。
＊無限の設定に夢がある。
＊文化の多様性。“みんな”ですることの楽しさを、食べ物を通じて知れていい。
＊アラジンのランプなど、色んなことが詰め込まれていて面白いが、少しせわしない感じもある。
＊クリエイティブに困難を解決するのがとても良い。いちばん強く感じたメッセージ。
＊テンポ感がいい（ともすれば、せわしないが）。
＊子供が飽きずに見られる。
＊昔の作品が随所に見られるのがとても良い。
＊祖父母と一緒に見ても、これについて会話ができる。
＊未就学児は最新の番組をみるが、古い作品を見るきっかけになる。より子供たちの世界が広がる。
＊4 歳の娘と見て、絵や色合いにすぐに食いついていた。
＊だが、娘は原作の方が好きなようだ（元々知っているので）。
＊自分も、元々原作がすごく好きだったので、キャラクター設定などを大人目線で見ると、正直入りこめなかったところもある。
＊“仲間と一緒に、友達と一緒に”を大事にしていると感じた。
＊レシピ通りじゃなくてもいい、というのも印象的。
＊全てが思い通りでなくて、失敗しても新しいものが生まれるという発想がいい。

＊原作を見たうえで、会話が生まれるコンテンツというのがありがたい。大人の自分の固定概念を変えるチャレンジにもなった。
＊カラフルな世界観がとても Disney らしい。
＊オリジナルから 70 年以上経って、今の子供向けにつくられており、キャラクターが可愛い。
＊ベースにあるキャラクターが今風にアレンジされている。原作の作品シーンに、いくつか気づいた。
＊原作の映画が好きな人なら、思わず人に話したくなる作品。
＊子供と一緒に見ていても親世代が楽しめる。
＊1951 年原作映画の色彩はきれいで、それに対するリスペクトなのかなと思った。
＊ハートの女王の娘（プリンセス）が出ているのが、原作と違うところ。プリンセスは見ているお子さんと同世代にあたる。
＊「ちいさなプリンセス ソフィア」を彷彿とさせる。
＊キャラクターの設定から、美女と野獣や「ファインディング・ニモ」を想起させるところがある。
＊自分の場合、原作とは別の作品と思って見た。
＊カラフルだけど統一感がある。バランスのいい作品。
＊お姫様は抑圧された過去があり、ちょっと控えめだけどみんなのお母さん目線のようなキャラクターで印象的。
＊心理学的にいうと、ここからどこまでの「毒」を見せるかが大事。これを 4 才の子供が見ることになる。最高傑作だからこそ危険。作品自体は完璧で、かつ挑戦的でもある。
＊原作の映画を知っている大人は我慢して見なければというところがあるが、だが子供たちには原作と両方楽しんでほしい。
＊個人的には、このタッチの CG は少し苦手だが、３D の表し方は上手いし、動きも表情もちゃんと表現できているし、絵としてはきれいだ。
＊もちろん、BGM も含めて、クォリティーが高い。
＊だけど、色彩や光沢とか大きく動かない髪の毛などから、少しプラスチックっぽさが感じられて、のめり込みづらいと感じる。ただ、それは自分が子供ではないからそう感じるだけかも…。
＊とはいえ、もし自分に小さい子供がいれば、この作品を見せるだろう。
＊プリンセスがいるという設定は、階級主義を助長するとか、批判する人もいるかもしれないが、自分はあまり気にならない。可愛く歌って、友達と仲良くおいしいものを作る、少しドタバタしながらハードルを越える、という普通に健全な作品だ。
＊一定の世代まで異世界を体験するのが「ふしぎの国のアリス」だった。カラフルな色味が原作から踏襲されている。
＊色味がわくわく感を助長する。

＊今は現実にもカラフルな世界があって、現実が異世界に追いついている。
＊原作は毒っ気があり、妖艶。大人も没入できる。
＊子供の世界にどこまで見せるか線引きが難しいが、これを子供に見せるにはちょうどいいと思った（大人は物足りないかもしれないが）。
→この作品はディズニー・チャンネルの未就学児向けの時間帯でも放送しており、この TV シリーズを放送開始するにあたって、原作の雰囲気も知ってもらえればということで、先にオリジナルのアニメーション映画を放送しているので、保護者やご家族と一緒に見て頂けたと思っている。

・審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和 4 年 12 月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。

・審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
令和 5 年 2 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上